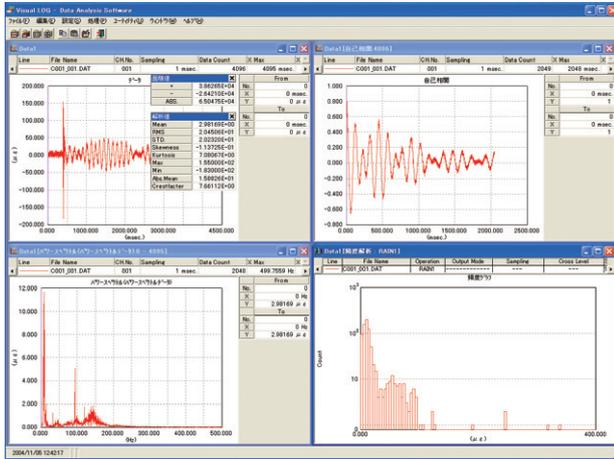


# DFA-7610 (FFT解析処理)



FFT解析処理ソフトウェア DFA-7610

本ソフトウェアは、当社製測定器TMR-311、TMR-211、DC-204R、DC-104R、DH-14Aの収録データや、ソフトウェアVisual LOG TMR-7630、TMR-7300、TMR-7200、DC-7630、DC-7204、DRA-7630、DRA-730AD、DRA-7162、RD-7640、DS-750、DC-7004Pなどと組合せて計測処理したデータファイルに対して各種解析処理（時間軸波形処理、X-Y グラフ、微積分演算、自己・相互相関、周波数解析、伝達関数、頻度解析等）を行うソフトウェアです。

## 仕様

データファイルの表示	
DADiSP データ	対応測定器： TMR-300やDC-204R等、計測データをDADiSP 互換で記録できる東京測器研究所製動ひずみ測定器 対象ソフトウェア： TMR-7630やDRA-7630等、計測データを DADiSP互換で記録できる東京測器研究所製品
頻度データ	HR-7916で取得したデータと本ソフトウェアにより 保存したデータ
波形データ	SDA-810C,830C,HR-908A で取得したデータ (*.*wvd)
DRA-7610形式	データファイル/CSV
ウィンドウの表示と 設定	T-Y グラフ、X-Y グラフ、周波数グラフ、伝達関 数グラフ、頻度グラフ
データ処理	
切り出し	選択した範囲を新規グラフに表示
レベルシフト	指定したシフト量を加えて新規グラフに表示
係数	指定した係数をかけて新規グラフに表示
データリスト	アクティブなグラフのデータリストを表示
絶対値	データの絶対値をとり、新規グラフに表示
極性反転	データの極性(±)を反転し、新規グラフに表示
面積値	面積値を計算し表示
解析値	以下の解析値を計算し表示 平均値(Mean)、実行値(RMS)、標準偏差(STD.)、 スキューネス(Skewness)、クルトシス(Kurtosis)、 最大値(Max)、最小値(Min)、絶対値の平均値 (Abs.Mean)、クレストファクタ(Crestfactor)
微分	微分を行ない、新規グラフに表示
積分	積分を行ない、新規グラフに表示
平均化	データの平均化を行ない、新規グラフに表示
トレンド	トレンド除去を行ない、新規グラフに表示
DC カット	DC成分のカットを行ない、新規グラフに表示

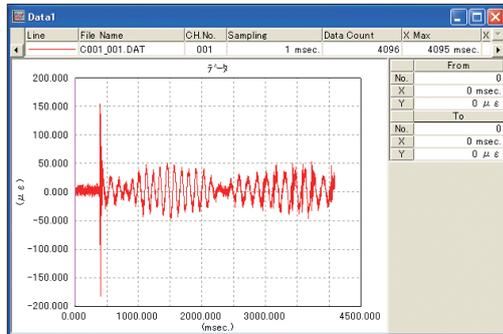
## 動作環境

OS	Microsoft Windows 7/8/8.1/10/11
パソコン	上記OS環境が推奨する機種、CDドライブ
メモリ容量	4Gbyte 以上を推奨
HDD容量	データを保存するハードディスクは10Gbyte 以上 の空き容量を推奨 OSが入っているハードディスクの時は4Gbyte 以上 の空き容量を推奨
プロテクトキー	USB Dongle

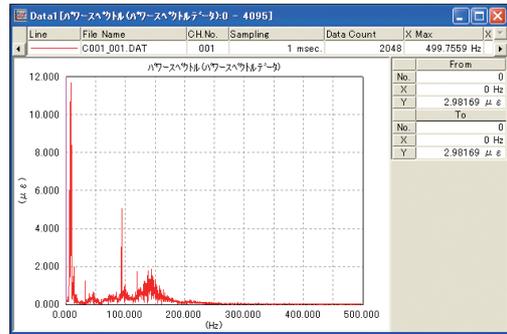
フィルタ	デジタルフィルタ処理(IIR)を行い、新規グラフ に表示
自己相関	データの自己相関を、新規グラフに表示
振幅確率密度	データの振幅確率密度を、新規グラフに表示
振幅確率分布	データの振幅確率分布を、新規グラフに表示
パワースペクトル	データのパワースペクトルを、新規グラフに表示
クロススペクトル	データのクロススペクトルを、新規グラフに表示
相互相関	データの相互相関を、新規グラフに表示
伝達関数	サンプル数を指定して伝達関数処理を行なう
コクアド線図	実数部と虚数部を周波数軸に対し表示
ボード線図	振幅と位相を周波数軸に対し表示
ナイキスト線図	実数部を横軸に虚数部を縦軸にとり表示
ニコルス線図	縦軸を振幅、横軸を位相として表示
逆フーリエ変換	データの逆フーリエ変換を、新規グラフに表示
頻度解析	各解析法にて頻度解析を行ない、頻度グラフを 表示 極大値・極小値法、最大値・最小値法、振幅法、 時間法、レベルクロッシング法、レインフロー法、 2次元レインフロー法、2次元時間法、2次元極 大値・極小値法、フロムツーフ
CSV ファイル	
CSV 入力	CSV出力で出力したT-Y、X-Yグラフのデータを開く
CSV 出力	アクティブな画面のデータをCSVファイルとして 保存
印刷	グラフウィンドウの印刷、データリストの印刷

データ処理画面例

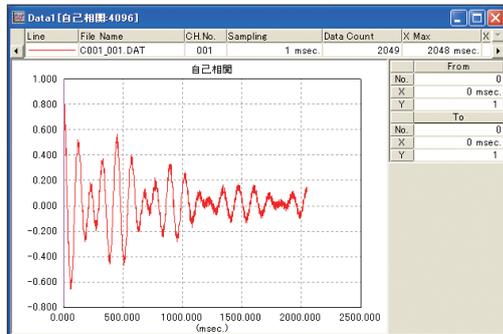
T-Yグラフ



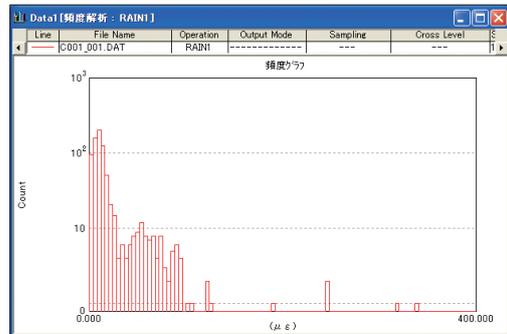
スペクトルグラフ



自己相関グラフ



頻度グラフ



システムブロック図

